

データで見る経済の動き

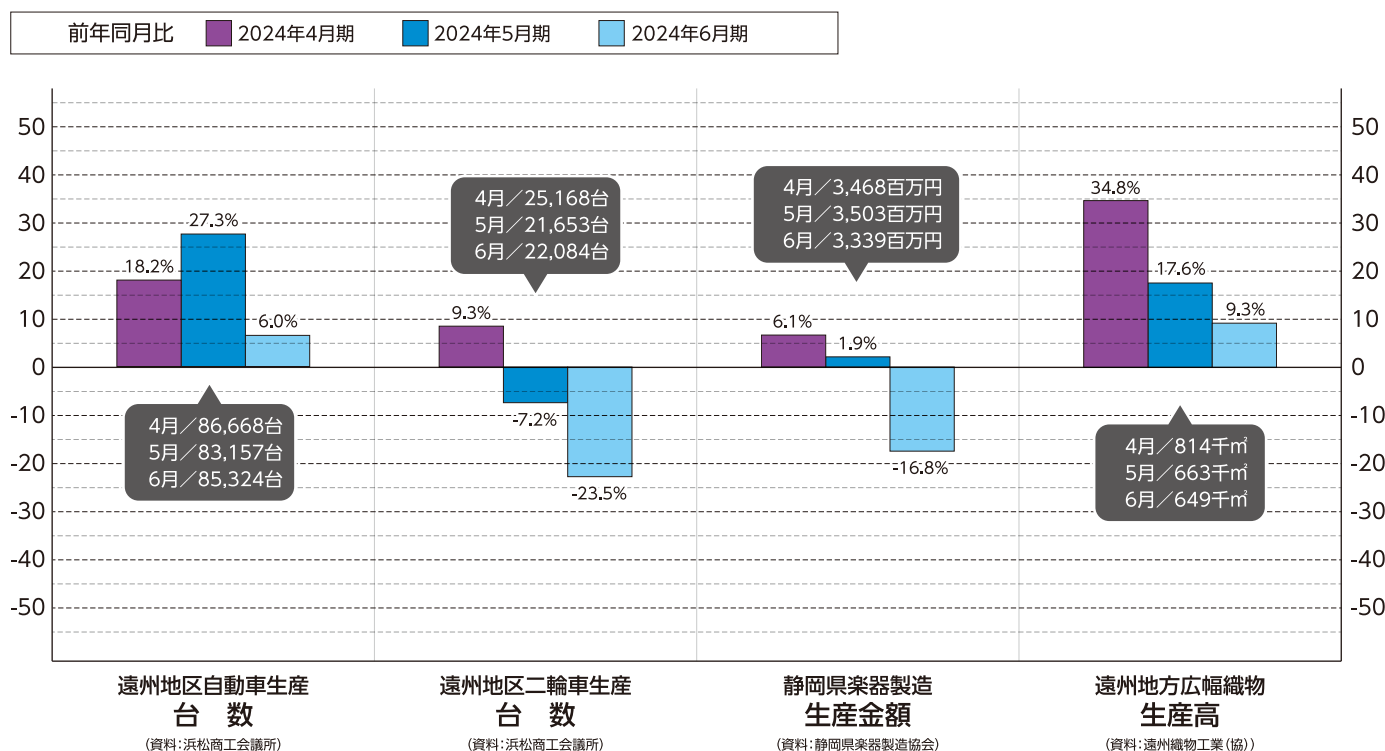
浜松地域の経済動向

2024年
6月を中心に

製造業は自動車、繊維が前年同月を上回り、二輪車、楽器は下回った。
原油価格は引き続き高値圏で推移している。

自動車の生産台数は、軽自動車が3カ月連続で二桁増と好調を維持している。一方、二輪車は国内向け輸出いずれも2カ月連続で前年同月を下回った。好調だった楽器は24カ月ぶりに前年同月を下回り今後の動向に注目。繊維は11カ月連続で前年同月を上回った。運輸業(タクシー)は平日夜間の動きが鈍く、ホテルの稼働率はインバウンドが上昇傾向で浜名湖花博の影響もあって団体客が好調。ガソリン価格は引き続き高値圏で推移し、外国為替は157円を超えた。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年6月における遠州地区の自動車生産台数は前年比6.0%増の8.5万台となり、5カ月連続で前年同月を上回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は11.8%増、小型四輪車は0.9%増、普通自動車は60.2%減となっている。軽自動車は新型車の効果もあって3カ月連続の二桁増と好調を維持している。国内向けは6.4%増で5カ月連続、輸出は4.6%増で3カ月連続の増加となっている。

二輪車



2024年6月における二輪車生産台数は前年比23.5%減の2.2万台となり、2カ月連続で前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下29.6%減、51cc～125cc以下15.6%減、126cc～250cc以下71.7%増、生産台数の過半を占める251cc以上は36.0%減と大きく減少した。国内向けは20.1%減、輸出も23.9%減といずれも2カ月連続で前年同月を下回った。

楽器



2024年6月における楽器生産金額は前年同月比16.8%減の33.3億円となり、24カ月ぶりに前年同月を下回った。中国経済の低迷により楽器販売の落ち込みが影響した模様。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ33.9%減、電子・電気ピアノ71.0%減、電子オルガン50.7%減、管楽器4.3%減と全ての分野で減少となった。

繊維



2024年6月の生産高は前年同月比9.3%増の649千㎡となり、11カ月連続で前年同月を上回った。対前年比は回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準までは回復していない。遠州産地内の委託生産型の衣料品向け生地を生産する織布工場は厳しい状況にあるが、自販型の工場は安定的な受注を確保している模様で、2極化している。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年6月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比5.8%減の28.5万人となった。運輸収入は、昨年秋の運賃改定効果があり前年比増だが、利用人員は前年比減となっている。稼働日数が同じ4月よりも利用人員は増加したが、平日夜間の動きが鈍い。

観光

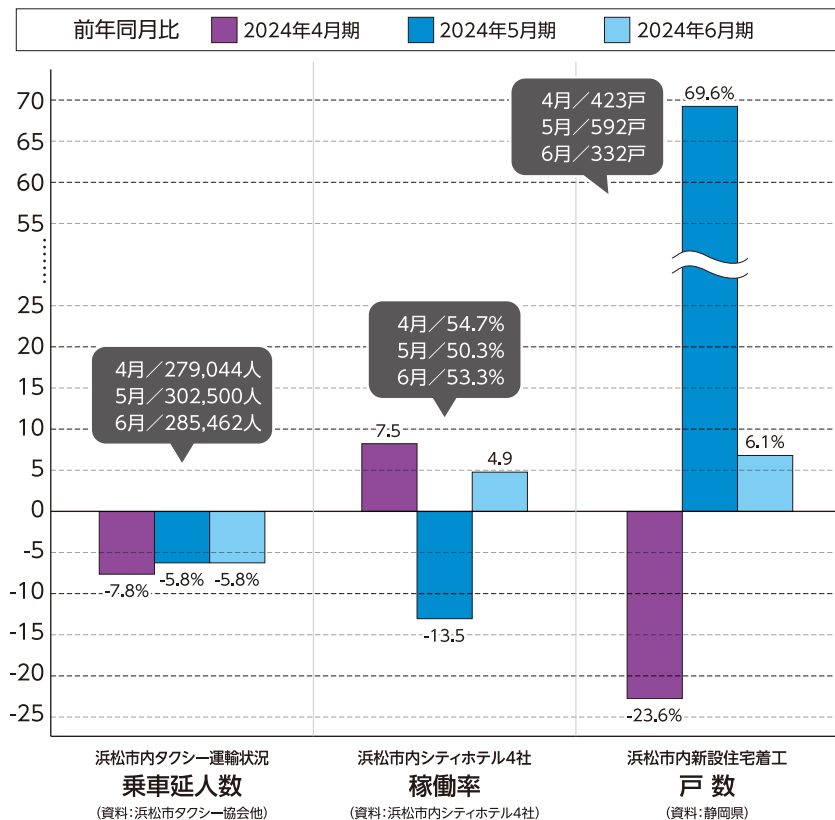


2024年6月の浜松市内ホテルの稼働率は53.3%であった。団体客は、インバウンドが上昇傾向で、浜名湖花博募集ツアーも好調だった。個人客は、観光・ビジネスとも予約が伸び悩む状況であった。

住宅着工



2024年6月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比6.1%増の332戸となった。内訳をみると、持家は168戸、貸家123戸、分譲住宅は41戸だった。前年同月との比較では、持ち家は増減なく、貸家が36戸増加し、分譲住宅は17戸の減少となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年6月の有効求人倍率は前年同月比0.11ポイント下降の1.11倍となり、前月との比較でも0.02ポイント下降となった。例年4月以降の数か月間は定年退職者の増加によって有効求人倍率は悪化する傾向がみられる。全国(1.23)との比較では0.12ポイント下回っているが、静岡県(1.09)との比較では0.02ポイント上回った。

倒産企業



2024年6月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は35件、金額は3.5億円だった。前年同月との比較では件数が24件、金額が1.5億円の減少となった。昨年6月よりゼロゼロ融資の返済が始まり急激に代位弁済が増えた。さらに物価高による調達コストの増加と人手不足が重なり代位弁済は増加傾向にある。

ガソリン価格



2024年6月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり176.0円で前年同月との比較では8.5円増加し、7か月連続で175円台を上回った。原油価格の高騰は出口が見えない状況にある。

外国為替



2024年6月の外国為替は1ドル157.82円となり、3か月連続で150円超となった。前年同月との比較では16.63円円安となり、今年になって6か月連続で円安となっている。輸入品の価格は円安の影響を受けて高騰し、収益を圧迫している。

